



## 産業・経済・労働

### グランプリ獲得で

### 大村の名前を全国区に!!

城 幸太郎 議員



12月3・4日に東京お台場で開催されるB-1グランプリスペシャルで「大村あま辛カレー

うまか隊！」が全国60自治体と競い合い、本市のPRを行う。今回は自治体が表彰される大会で、メディアからも注目的である。グランプリを獲得すれば、大村の名前が全国区となる絶好のプロモーションの機会だと考えるが、どのような協力、連携を考えているのか。

**A** B-1グランプリスペシャルについては、PR効果が大きく、絶好の機会であると認識している。市としては、フラワー大使を含め職員6人を派遣したり、本市にゆかりのある方にボランティアとしての参加を呼びかける予定であるが、本市のブースでの具体的な活動内容はまだ決定していないため、早急に詰めていきたい。また、議員や市民の皆様からもアイデアを募集したいと思っているので、ご協力をお願いしたい。

### 旧大村浜屋ビルの活用について

山北 正久 議員



総合福祉センターに同居している社会福祉協議会をはじめとする「9団体」の旧大村浜

屋ビルへの移転に関し、既に各団体へのヒアリングは実施されたことであるが、一部の団体からは、唐突な要請ということから強力な反対があっているなど、さまざまな課題を抱えている。このようなか、同ビルの1階に第21海軍航空廠に関連する資料館を本当に設置するのか。

### 大村公園の整備について

野島 進吾 議員



大村公園には、桜や花菖蒲の花見シーズンには県内外から多くの方に立ち寄っていただ

ている。今後も、本市の観光拠点

としての発展を図るためにも、さまざまな観点から新たな施策を打ち出す必要がある。まずは、駐車場にゲートを設置するなどの安全対策面での整備や、駐車場の有料化も含め、次年度から取り組んで

はどうか。

### A

駐車場の有料化については、市役所周辺施設の駐車場との整合性や交通渋滞、近隣家屋の環境に配慮して、旧体育館跡地に限定して検討した経緯があるが、ここは、県立図書館の候補地や、平成26年度に開催された国体の山岳競技会場となったため、現在は検討を中断している。

### 新幹線開通を見越した観光客誘致について

廣瀬 政和 議員



低迷する本市の観光を打開するため、平成34年に開業予定の九州新幹線西九州ルートに大

きな期待が寄せられている。観光立市を目指す本市にはまたとないチャンスであるが、沿線の武雄市、嬉野市、諫早市、長崎市は観光先進地である。これらの自治体に負けないような新幹線開通を見越した本市の観光客誘致戦略を尋ねる。

### A

新幹線開通を見越した観光戦略については、大村公園の桜など、現在ある観光資源のブラッシュアップを行うとともに、周辺市町と連携した広域的な観光の起点となる観光周遊コースの開発や効果的なPRを行う必要があると考えている。また、新幹線開通に合わせて、本市に建設される車両基地の魅力を最大限に生かした誘客策や、空港と連携した体験型巡礼ツアーなど外国人観光客のニーズに沿った観光コースを検討したい。

### 大村市農業基本条例について

廣瀬 政和 議員



平成22年に大村市農業基本条例が施行されたが、改めてこの条例の制定された背景、目的、理念、施策の基本方針について尋ねる。

### A

農業基本条例の背景及び目的については、食料自給率の低下や、後継者不足等のさまざまな背景の中、農業及び農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、持続的な発展等を図ることを目的としている。また、基本理念に関しては、農業については、地

